

10月レポート 「歴史と文化」

秋も深まり校内の木々の紅葉も一段ときれいになってきました。空気も冷たく、すでに日本の冬のように感じられます。10月レポートでは、アフリカン・アメリカンの歴史に触れた博物館訪問と文化に触れたハロウィンについて述べたいと思います。

1. 博物館訪問

10月半ば、オハイオ州の南に位置するケンタッキー州との境、シンシナティにある National Underground Railroad and Freedom Center に行きました。大学内にある異文化理解を促進することを目的としたコミュニティの活動の一環で訪問しました。ここはアフリカン・アメリカンに関する歴史博物館で、すぐそばには、かつて黒人奴隷がケンタッキー州からオハイオ州に向けて（北上するために）必死に渡ったというオハイオ川が流れています。主にアメリカにおける奴隷の歴史が紹介され、彼らが奴隷となった経緯や果たした役割、社会への影響等を様々な展示物から学ぶことができました。非常に大規模な博物館で、またガイドの熱心な話しぶりからも、いかにアメリカにとって黒人奴隷の歴史が大きな意味を持つかを感じることができました。また、興味深かったのは、アメリカの奴隷の歴史にとどまらず、現代社会における「奴隷」に関する展示があったことです。今、世界に「奴隷」がないと言い切れるのかという問いを投げかけているように感じました。黒人奴隷のような形ではなくとも、例えばアフリカの児童労働、東南アジアの売春等で生きる人々は「奴隷」にあたらないのか。今回の博物館訪問は、アメリカならではのアフリカン・アメリカンの歴史に加え、現在にも続く「奴隷」について深く考える貴重な機会となりました。

図1：National Underground Railroad and Freedom Center

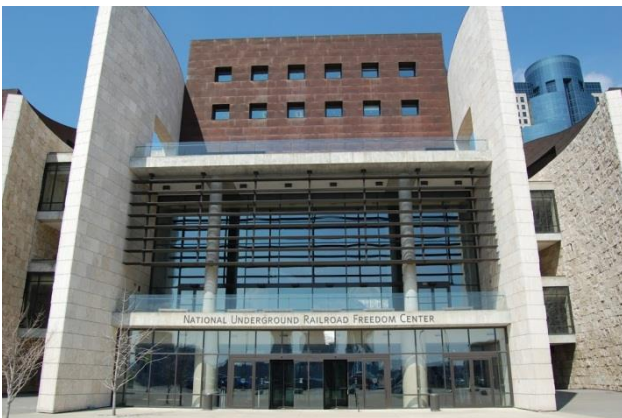


図2：オハイオ川



2. ハロウィン

さて、ここまでアメリカの歴史について触れましたが、続いて文化です。10月末にはハロウィンパレード、パンプキン・ペインティングが行われました。パレードは大学内にとどまらず、道路を封鎖して街の人々が多く集う大規模なものとなりました。私たちもアメリカ人も交えながらチーム日本としてパレードに参加しました。規模の大きさや仮装の奇抜さに驚きながらも、私たちも浴衣や法被（はっぴ）を着たりとそれぞれが仮装し、子供たちにお菓子を配って回りました。また、大学内の教育クラブが主催したパンプキン・ペインティングも行われました。これにはボランティアとしての参加でしたが、私たちもペインティングに挑戦できることとなり必死に描きました。多くの学生が参加し、思い思いのかぼちゃが完成していきました。このようにハロウィンでは大いに盛り上がり、良き文化を感じるとともに、忘れられない思い出となりました。

図3：パンプキン・ペインティング

